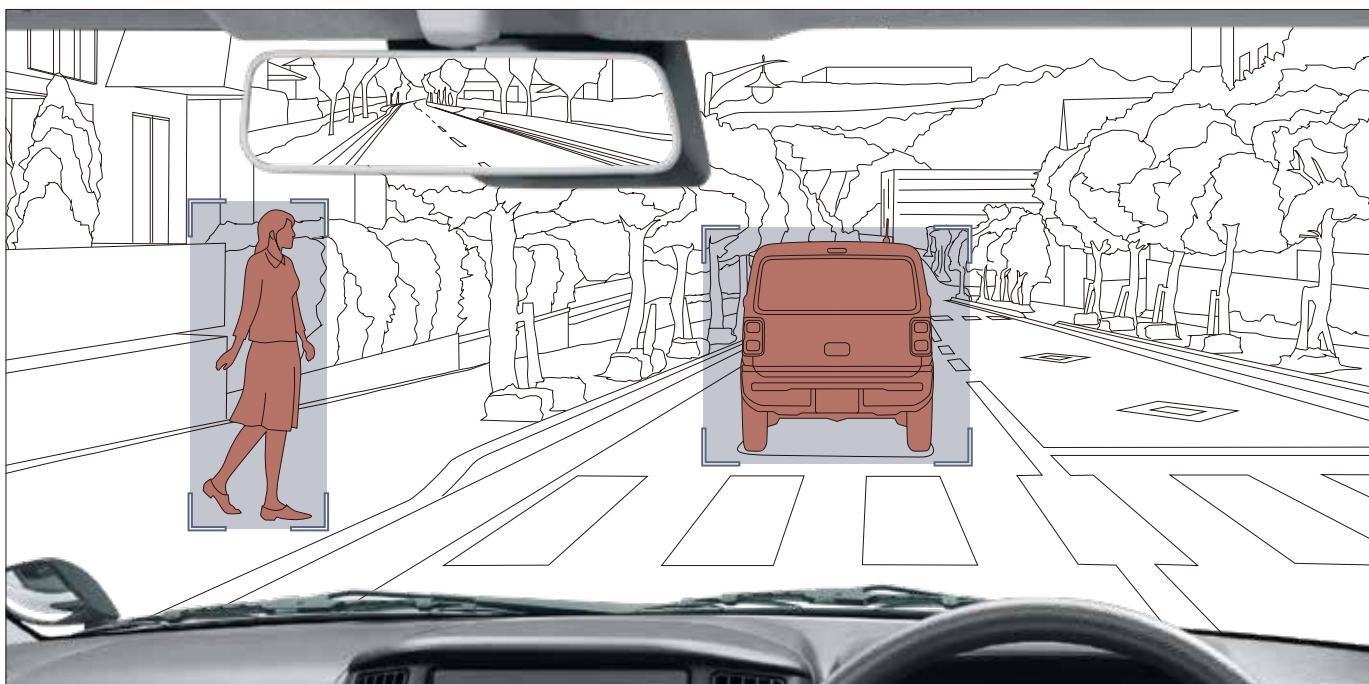


安全を考え抜いた、先進の衝突回避支援システム。



全車安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し、交通事故防止を図る「安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

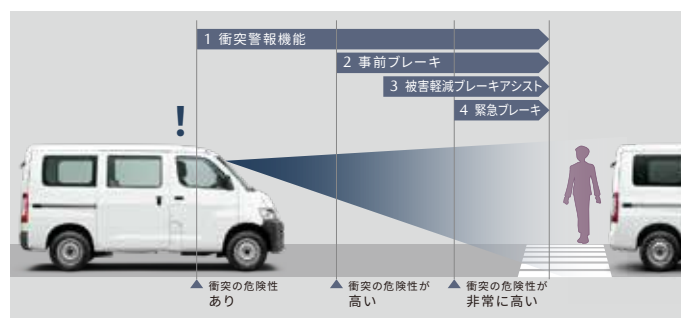
*衝突回避支援ブレーキ機能、車線逸脱警報機能、ブレーキ制御誤発進抑制機能（AT車のみ）、オートハイビーム装着車。詳しくは本ページをご覧ください。

衝突回避支援システム（スマートアシスト）

①衝突警報機能（対車両、対歩行者〔昼夜〕）、 衝突回避支援ブレーキ機能 （対車両、対歩行者〔昼夜〕）運転支援機能

走行中に前方の車両（二輪車、自転車を含む）、歩行者（昼夜対応）を認識し、衝突の危険性があると判断した場合にドライバーへ注意喚起。さらに危険性が高まった場合には緊急ブレーキで減速。衝突の回避や、衝突時の被害軽減に寄与します。標準装備：全車

■衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能動作イメージ図



1 衝突警報機能

走行中に前方の車両や歩行者をステレオカメラが検知し、衝突の危険性があると判断した場合、ブザー音とメーター内表示で警告します。

作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{*1} 約4～約120km/h ^{*2} 走行時	ビビビビビビ	点滅
対歩行者 ^{*3} 約4～約60km/h走行時		

2 事前ブレーキ

衝突の危険性がさらに高まったとシステムが判断した場合、弱いブレーキをかけます。

作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{*1} 約4～約120km/h ^{*2} 走行時	ビビビビビ...	点滅 点灯
対歩行者 ^{*3} 約4～約60km/h走行時		

3 被害軽減ブレーキアシスト

事前ブレーキが作動している時にドライバーがブレーキペダルを踏み込むと、ブレーキアシストが作動し、ブレーキ制動力を高めます。

作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{*1} 約30～約120km/h ^{*2} 走行時	ビビビビビ...	点滅 点灯
対歩行者 ^{*3} 約30～約60km/h走行時		

4 緊急ブレーキ

衝突が避けられないとシステムが判断した場合、強いブレーキで減速。衝突の回避や、被害の軽減をサポートします。

作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{*1} 約4～約120km/h ^{*2} 走行時	ビビビビビ...	点滅 点灯
対歩行者 ^{*3} 約4～約60km/h走行時		

*1：二輪車、自転車含む。*2：公道を走行するときは、法定速度、制限速度を順守してください。*3：昼夜対応。

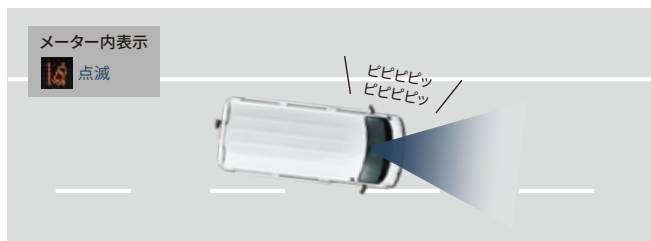
*状況によっては、衝突回避支援ブレーキ機能が作動せず、衝突の回避、被害の軽減ができない場合があります。*衝突回避支援ブレーキ機能作動中にアクセルペダルを踏んだ場合などには、作動を解除する場合があります。*衝突回避により車両停止後、衝突回避支援ブレーキ機能が解除されます。AT車はクリープ現象により前進しますので、停止後は必ずブレーキペダルを踏んでください。また、MT車はエンジンが停止します。ただし、クラッチペダルを踏んだ状態では停止しません。*衝突回避支援ブレーキ機能は、主に先行車、歩行者に作動します。ただし、電柱、壁などに対しても作動することがありますが、これらへの衝突を回避することを目的とはしていません。*歩行者が大きな荷物を持っているなど、ステレオカメラが歩行者として正しく認識できない場合は作動しません。*車両、二輪車、自転車、歩行者の割り込み、飛び出しには対応できません。*被害軽減ブレーキアシスト機能は、速度差が約30～約120km/h（対歩行者の場合は、約30～約60km/h）で作動します。

②車線逸脱警報機能

約60km/h以上で走行中にステレオカメラが車線を検知している場合、道路上の車線から逸脱しそうになると、ドライバーへ警報し、逸脱回避操作を促します。**標準装備:全車**

※道路上の車線がかすれていたり、汚れたりしている場合は、作動しません。
※ターニングナル(方向指示灯)を使用している時は作動しません。

■車線逸脱警報機能作動イメージ図



③ブレーキ制御付誤発進抑制機能(前方・後方) **運転支援機能**

約10km/h以下で障害物を認識後、踏み間違い(アクセルペダルを強く踏み込んだ場合)を判定してエンジン出力を抑制し、ブザー音とメーター内表示で警告。さらに障害物に衝突する危険性があるとシステムが判断するとブレーキ制御が作動します。**標準装備:AT全車**

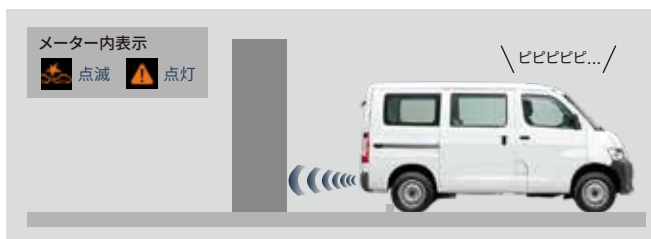
■ブレーキ制御付誤発進抑制機能(前方)作動イメージ図



前方約4m以内に障害物などがあることをステレオカメラが検知している時に、シフトポジションを「前進」にしたままブレーキペダルと間違えるなどして必要以上にアクセルペダルを踏み込んだ場合、急発進を抑制します。

※エンジン出力を制限することで、急な発進を抑えます。※次の場合は作動しません。〈後方のみ〉・ワイパーがHiの時〈前方・後方〉・ドライバーが回避動作(ハンドル操作など)を行った時・ウインカーONの時 ※次のような場合は、適切に作動しないことがあります。〈ステレオカメラの場合〉・前方の視界が悪い時(強い雨、吹雪、濃霧など)・フロントウィンドーに曇りや汚れがある時・障害物がガラスの場合・障害物がフェンスやレンガなど均一な模様を持つものの場合・障害物がまったく模様のない壁やシャッターの場合〈後方ソナーセンサーの場合〉・バンパーの非常に近い所に障害物がある時・周囲で大きな音が鳴っていたり、超音波を発するものがある時・障害物と車両が垂直でない時・障害物の高さが低い時(緑石など)・自車の中心と障害物が外れている時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。※制御時間には制限があります。一定時間アクセルペダルを踏み続けるとアクセル操作に応じて加速しますのでご注意ください。※MT車はブレーキ制御付誤発進抑制機能(前方・後方)はありません。

■ブレーキ制御付誤発進抑制機能(後方)作動イメージ図



後方約2～約3m先までに壁などの障害物があることをソナーセンサーが検知している時に、シフトポジションを「後退」にしたままブレーキペダルと間違えて必要以上にアクセルペダルを踏み込んだ場合、急発進を抑制します。

④先行車発進お知らせ機能

信号待ちなどで前のクルマが発進したことに気づかない時、ブザー音とメーター内表示でお知らせします。**標準装備:全車**

※前方約10m以内の先行車が約3m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。※AT車はブレーキペダルを踏んでいる時に作動します(シフトポジションが[P]・[R]の時は作動しません。[N]の時はブレーキペダルを踏んでいなくても作動します)。※MT車は[R]以外でブレーキペダルを踏んでいる時に作動します。

■先行車発進お知らせ機能作動イメージ図



⑤オートハイビーム

対向車のヘッドランプなど前方の明るさを検知し、ハイビームとロービームを手をわずらわせることなく自動で切り替え。先行車や対向車などがない時にはハイビームにし、遠くまで見通しを確保。安心感を高めます。

標準装備:全車

※自車速度約30km/h以上で作動します。※ハイビーム・ロービームの切り替え自動制御には状況により限度があります。運転時にはつねに周囲の状況に注意し、状況に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。

■オートハイビーム作動イメージ図



■スマートアシストに頼った運転は絶対に行わないでください。スマートアシストは、ドライバーの判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。脇見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。また、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転時は常に先行車や歩行者との距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど距離を保ち、安全運転を心がけてください。

■スマートアシストの認識性能・制御性能には限界があります。ドライバーの運転操作、急カーブ、急勾配、雨などの道路状況、および天候によっては、システムが作動しない、または作動が遅れる場合があります。■雪、濃霧、砂嵐の場合や、トンネル内、夜間、日射しの状況によってはステレオカメラ、ソナーセンサーが障害物などを正常に認識できず、適切に作動しない場合があります。■作動条件下であっても、システムが作動しない場合があります。■このほか、スマートアシストについて重要な注意事項が記載されておりますので、詳しくは取扱説明書をご覧ください。■スマートアシストの詳細は販売会社にお問い合わせください。

多岐にわたる安全装備が、運転時の安心をサポート。

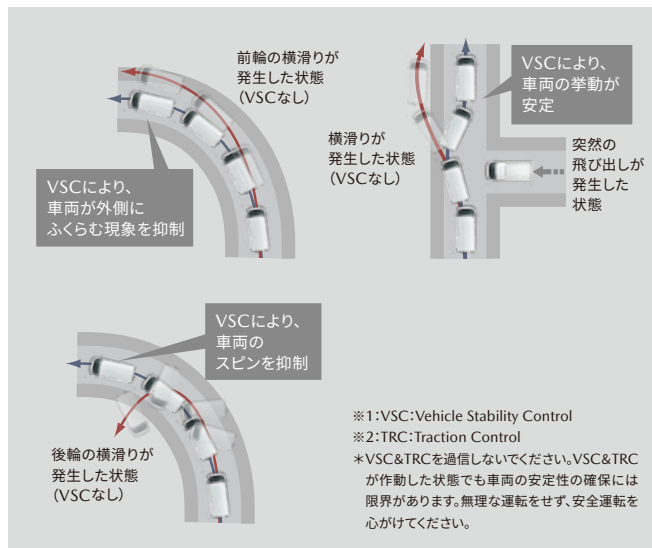
VSC※¹ & TRC※²

VSCは急なハンドル操作や、滑りやすい路面でのコーナリング時に横滑りが発生した場合、ブレーキとエンジン出力を自動的にコントロールして車両安定性を確保。TRCは発進・加速時にタイヤの空転を抑えて、アクセル操作を容易にします。[標準装備:全車]



■VSC OFF
スイッチ

■VSC作動イメージ図



衝突安全ボディ

乗員をできる限り事故から守るため、万一の衝突の際には、衝突エネルギーを効率よく吸収するフロントサイドメンバーを搭載。さらにエネルギーをボディ骨格全体に分散させる工夫で、キャビンの変形を極力おさえることができる衝突安全ボディを採用しています。

[標準装備:全車]

バックセンサー

バックセンサーが後方の障害物を検知し、その距離に応じて4段階のブザー音でお知らせ。縦列駐車や車庫入れなどの後退運転をサポートします。ブザー音はスイッチ操作で消すこともできます。

[標準装備:全車]



Photo:DX 4WD



■作動時



■ブザーOFF
スイッチ



■ブザー
OFF時

検知距離	ブザー音
約150cm～約60cm※	ビッ・・・ビッ・・・という断続音
約60cm～約45cm	ビッビッという断続音
約45cm～約30cm	ビビビという断続音
約30cm以内	ピーという連続音

※車両中央2か所のセンサーのみ認識。

ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。たとえば、後退時に衝突して慌てたドライバーがアクセルペダルを踏んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、警告表示で注意を促すと共に急発進を抑制します。[標準装備:AT全車]

ヒルスタートアシストコントロール

登り坂での発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える際、クルマの後退を軽減します。

[標準装備:AT全車]



緊急ブレーキシグナル

車速約60km/h以上で走行中に強くブレーキペダルを踏んだ場合、ブレーキランプ点灯と同時にハザードランプが自動で高速点滅。後続車に注意を促します。[標準装備:全車]

LEDヘッドランプ[ハイ・ロービーム](マニュアルレベリング機能付) + LEDクリアランスランプ

明るい白色光が、運転しやすい視界をサポートするLEDヘッドランプ(マニュアルレベリング機能付)を全車に採用。消費電力の低減、長寿命にも貢献します。[標準装備:全車]



コンライト(ライト自動点灯・消灯システム)

車外の明るさに応じてヘッドランプなどを自動点灯・消灯、夕暮れ時やトンネルの続く山道などで役立ちます。また、自動消灯システムにより、エンジンを切るとヘッドランプを自動で消灯。バッテリー上がりを防ぎます。[標準装備:全車]

リヤコンビネーションランプ(LEDテールランプ&ストップランプ)

リヤコンビネーションランプの赤色部(テール&ストップランプ)には視認性の高いLEDランプを採用しています。

[標準装備:全車]



■LEDリヤフォグランプ

LEDリヤフォグランプ(右側のみ)

[標準装備:4WD全車] [メーカーセレクトオプション:2WD全車]

※LEDリヤフォグランプは右側のバックアップランプがLEDリヤフォグランプに入れ替わりとなります。